

20金地振第 546 号  
平成20年10月14日

国土交通省道路局長 様

福島県大沼郡金山町  
町 長 長谷川 律



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました件について別紙のとおり回答いたします。

（ 担 当 ）

金山町役場地域振興課

建設係 栗 城

（TEL 0241-54-5311）

（FAX 0241-54-2600）

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

○ 道路整備は必要急であるとの意識改革

マスコミ等により道路整備の無駄な部分がクローズアップされ、国民の一部もマスコミの大量報道により、感化されているように思える。

道路整備においても、他行政においても無駄な部分は多数あると思うが、それは氷山の一角であり、それを棚に上げ必要悪とあおるマスコミ対策が必要であり、国民にも道路整備は必要であるとの意識をもたせる対策がまず必要であると思う。

○ 道路行政体系の柔軟化

国内道路整備において画一的な道路整備（道路構造令等による）を進めてきた。その結果、全国津々浦々まで交通網が整備されネットワーク化され、産業、経済、日常生活等に十分な効果を果たしてきた。これからは画一的な道路整備プラス、その土地での最良な独自性のある道路整備（歴史の道、生活の道、古代人の道整備など）も今まで以上に柔軟に対応する必要があると思う。

○ 道路整備予算の確保

道路特定財源が一般財源化されても、道路整備にかかる予算の確保をお願いしたい。

今後の道路行政について意見・提案

様式②

②-① 地域の現状と抱える課題

福島県金山町

○現状

国・県道の整備について

- ・ 交流人口（観光客）を増やすための道路整備の促進
- ・ 生活圏拡大に伴う道路整備の促進
- ・ 救急医療等からみた道路整備の促進

町道の整備について

- ・ 過疎、高齢化、豪雪地帯の地域の生活基盤である道路整備の促進

○課題

} 急峻な山間地を通る国・県道が多く年々整備は少しずつ進んでいるが、幅員狭小、急勾配、カーブがきつい箇所が多く、その解消が課題。

この課題は、地方中心都市周辺の山間町村全ての課題であると思う。

- ・ 日常生活、救急医療、豪雪対策（除雪機械可能道路）の為に足元道路の整備の早期実現

②－２地域の目指すべき将来像

- 最寄りの地方中心都市へ通勤可能な国・県・町道整備促進  
（生活圏の拡大により定住人口の増を目指す）
- 救急医療施設のある地方中心都市へ４０分以内に行ける国・県・町道整備  
（都市とあまり差のない医療行為が受けられる町を目指す）
- 交流人口の増による町の活性化促進のための国・県・町道整備促  
（地域産業を活性化することによる定住人口の増を目指す）
- 豪雪地帯のマイナスイメージを感じさせない国・県・町道整備  
（自然条件（暗い部分）を克服し、自然条件（明るい部分）を利用した町づくりを目指す）

今後の道路行政について意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

福島県金山町

| ○重点事項 | ○代表事例 | ○期待する効果や評価等 | ○その他 |
|-------|-------|-------------|------|
|       |       |             |      |